

十二 盆 盆

発行日 令和 4 年 7 月 1 5 日 (第 9 2 号)
発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
〒028-0115
花巻市東和町安俵 6 区 53 番地
TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

“体温”、瞬時にチェック…

全公民館にサーモカメラ

新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年余、大分日常生活が振り回されましたが、ワクチン接種が進んだこと、非常事態宣言も解除されたことで、「さあ～これからは…」と堰を切ったように社会が動き始め、このこと自体は喜ばしいことですが、ちょっと心配なところもあります。

手放しで喜べる状態ではなく、安心も出来ません。

とは言え、会合の規制が解かれ、様々な行事も復活、社会生活に活気が戻って来たことは事実。

しか～し、まだ感染者は「0」ではありません。ここは気を引き締めて「ご油断なく」と言うことで、土沢地域づくり会議では公民館利



「マスク」を付けてください。
体温は正常です…

用者のコロナウイルス感染防止対策と健康管理用に、「非接触型顔認識検温器（サーモカメラ）」を全公民館（9館）に順次配備します。

地域内住民が安心して会合に集中できることを願いながら…。総事業費 58 万 4,100 円。

市政懇談会

日時 8/10 (水)
18:30～20:30 (予定)
会場 東和コミセン
町づくり等についての
意見交換会です。

みんなの交通安全

夏場の運転要注意・スッキリ気分で事故防げ

暑くなると疲労がたまり、長距離運転となるとなおさら、居眠り運転の要因となりとても危険です。…と言うことで夏場の運転は体調管理も必要です。こまめに休息を取り、水分もしっかり補給、スッキリとした気分でハンドルを握りたいものです。「ただいま」と帰るその時まで安全運転を。

今年モデル地区

土沢地区の人口と世帯数

令和4年5月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1 (新地・百ノ沢)	131	179	185	364	0	2	0	0	1	1
土沢第2 (鎗町)	145	146	178	324	0	2	0	0	3	3
土沢第3 (中町・下町)	153	175	186	361	0	0	10	3	8	11
土沢第4 (駅前・上町)	177	180	215	395	0	3	7	5	3	8
土沢第5 (前郷・八日市場)	136	176	194	370	0	1	0	1	0	1
土沢第9 (六本木)	252	300	344	644	0	0	6	6	1	7
合計	994	1,156	1,302	2,458	0	8	23	15	16	31

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

たまには おこわ を 郷土料理教室

日時 8月24日(水)
午前9時30分～
11時30分
場所 東和コミセン
講師 東和グリーンツーリズム運営協議会
藤本眞津子氏
内容 クルミと胡麻のおこわ・雑穀のお菓子
持ち物 エプロン・三角巾

持ち帰り用エコバックなど
参加費 300円
定員 10名(土沢振興センター管内にお住まいの方優先)
申込先 土沢地域づくり会議
電話 42-3255 又はコミセン受付窓口でお申込み下さい。詳しくは8月1日発行のチラシをご覧ください。

コミセンに笑顔もどる

新型コロナウイルス感染症予防対策で利用できなかったコミセンの市民ホールが、やっと規制が解け6月24日から2年ぶりに使えるようになり、笑顔が戻ってきました。久しぶりの再会?に社会生活も通常になりつつありうれしい話題です。まずはお帰りなさい。

ピッピッピッ
ピーピー
ピー
自火報
取り替え
ました?

皆さんのお宅では大丈夫ですか!

住宅用火災警報器の設置が義務化(H.23.6.1)されてから10年以上経ちました。古くなると性能が落ち、鳴らなかったり誤動作を起こしたり…と、ちょっと心配です。早目の交換をおすすめします。

なぜ必要?…住宅火災による死者の6割は逃げ遅れが原因。火災の発生に気づきにくい就寝時間中に集中していません。自火報は命を守るための有効な機器です。



「花巻市消防本部予防課」

ふる歴コーナー

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介します。

《展示パネル引用》

東和の城館 中世 小山田館・小山田西館

小山田地区は、旧和賀郡に属しているが、中世初期には稗貫氏領となっていたらしい。瀬川稗貫系図では、稗貫氏初代^{ひろしげ}広重の弟彦九郎^{ひこくろう}為直が祖という。永享の乱では、稗貫本城に籠城した家臣団の筆頭格に「小山田」の名が出てくる。天正年間の領主は、小山田^{ころうざえもん}吾郎左衛門といい、この時期には和賀氏領になっていたという言い伝えもある。今回は小山田氏を稗貫家臣とした。

小山田館は、上小山田の「宿」と呼ばれる集落の周辺にある。館跡の主体部は、北東から南西へと延びる比高10mほどの丘陵上にあり、先端部は^{りゅうたくし}瀧澤寺の境内となっている。主郭は、瀧澤寺の建つ先端部と考えられ、規模は40m×60mほどの広さで、北側隅には^{たていなり}館稻荷神社がある。さらに北東の丘陵続きは幅12m～15m、深さ6～7mの空堀と、幅2～3mほどの土塁で断ち切っている。郭は、空堀の北東側の現在の水田面にも続いていたと考えられ、開田前には東西に延びる広い空堀跡が見られたという。



小山田館から200mほど離れた丘陵先端部にも規模の小さい^{たんかく}単郭があり、小山田西館と名付けた。主郭の規模は27m×40mで、東側に幅12～13mの広い^{おびくるわ}帯郭、北東から西側にかけて幅7～8mの空堀と土塁によって防御されている。これらは、小山田館の一部を構成していたと考えられる。